

## がん検診に係る精度管理事業評価のプロセス指標の公表について

### 1 がん検診に係る精度管理事業評価のプロセス指標値について

がん検診の精度管理を図る指標としては、「技術・体制指標」「プロセス指標」「アウトカム指標（死亡率）」がある。プロセス指標は検診が効果（死亡率減少）につながるよう適切に行われているか、達成度を図るものである。

### 2 プロセス指標値の公表について（前回までの予防・早期発見部会の論議）

プロセス指標値については、数値の算出方法を統一し、より正確な結果が得られるよう改善を図る必要があることから、昨年度は公表を見送り、市町村への説明や研修会により働きかけを行った。

その上で、前回事務局が示したプロセス指標値について、市町村に確認の上、公表していく方針となった。

### 3 公表用プロセス指標値の数値データについて

前回、事務局の提示したプロセス指標値の対象受診者数については、地域保健・健康増進報告の数値を用いた。しかし、地域保健・健康増進事業報告の対象者数は、市町村により算出方法が異なるため、統一した方法での指標値評価を行うためには、厚生労働省健康局総務課長通知（平成 21 年 3 月 18 日付健総発 0318001 号）に示されている推計対象者数を用いる必要がある。

40 歳以上（子宮頸がん検診は 20 歳以上）・男女ごとに、以下の計算式で算出した人数を「推計対象者数」とする。各係数は直近の国勢調査において報告された人数を用いる。

算出式  $\boxed{\text{推計対象者数}} = \boxed{\text{市区町村人口}} - (\boxed{\text{就業者数}} - \boxed{\text{農林水産業従事者}})$

今回、推計対象者数を用いたプロセス指標値を改めて示した。

また、乳がん、子宮頸がん検診の受診率については、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に示されている算定式を用いて算出するべきであるが、2 年連続受診者数が確認できていないため、単年度受診率とした。

受診率 =  $(\boxed{\text{前年度の受診者数}} + \boxed{\text{当該年度の受診者数}} - \boxed{\text{2年連続受診者数}}) / \boxed{\text{当該年度の対象者数}} \times 100$

### 4 公表方法

公表は、県健康づくり支援課ホームページ掲載とする。

資料 1-2 に示した右側の指標値を公表対象データとし、別紙「プロセス指標の意味と活用方法」を掲載することで、各指標の意味や数値の見方を示していく。